

「森友」公文書改ざん、「働き方改革」のデータねつ造…。安倍政権への国民の批判が沸き上がっています。通常国会、近畿選出の日本共産党国会議員は、安倍暴走政治と対決し、政治転換の先頭でがんばっています。

宮本岳志
衆院議員



2月13日、衆院予算委

真相 徹底して究明を「森友」追及17回 政府のウソ暴く

1年以上にわたる「森友」問題。昨年2月15日、国有地8億円値引きを国会で最初に取り上げて以来、森友問題の質問は17回になりました（3月27日現在）。国側は森友との価格交渉など、宮本さんが追及していた疑惑をことごとく否定していましたが、それがウソ、ごまかしであったことが明白になりました。

今国会では、音声データで安倍昭恵首相夫人の

値引きへの関与を明らかにし、「昭恵氏、佐川氏（前財務省理財局長）が真相を語るべきだ」として証人喚問、真相の徹底究明を要求。佐川氏の証人尋問にも立ちました（3月27日、予算委）。

●今国会での主な質問

- 2月13日 昭恵氏関与を示し証人喚問を要求（予算委）
- 15日 音声データで森友・国の価格交渉追及（予算委）
- 3月6日 建設費水増し知っていた？（国交委）
- 20日 出国税「観光立国に逆行」（国交委）

山下よしき
参院議員

「働かせ方改悪」撤回せよ 長時間労働・過労死の危険

安倍政権が今国会の目玉とした「働き方」改革。実際は「働かせ方改悪」です。裁量労働制の拡大はデータねつ造で安倍首相が謝罪、断念しました。しかしより長時間労働・過労死の危険が高い「残業代ゼロ」制度（高度プロフェッショナル制度）には執念を持っています。

「過労死の悲劇を繰り返さないため、しっかり教訓をくみ取るべきだ」と切り出した山下さん。“高

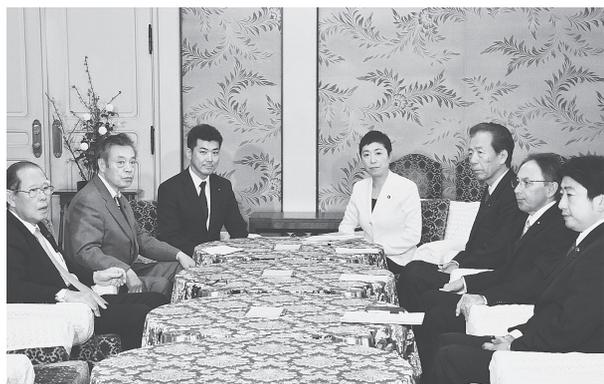
プロ」といわれる「残業代ゼロ」制度には長時間労働に加え、休日や深夜に働いた場合の割増賃金も支払わなくてもよいなど「異次元の危険」があることを指摘。「残業代ゼロ」断念、「働かせ方改悪」撤回を求めました。（3月5日、参院予算委）

●今国会での主な質問

- 3月16日 森友文書改ざん事件で麻生財務相に質問（本会議）
- 20日 国保料の統一化を追及（総務委）
- 23日 改ざんは「民主主義の根幹こわす」と指摘（総務委）



3月5日、参院予算委



野党国対委員長会談。左から2人目がこくたさん=3月6日、国会内

森友改ざん事件

こくた^{国会対策委員長} 6野党結束すすめる

「森友」公文書改ざん事件。6野党の結束が安倍政権を追い詰めています。

日本共産党は事態の節目ごとに野党の書記局長・幹事長会談や国対委員長会談の開催を呼び掛け、6野党の結束を前にすすめてきました。その中心で奮闘しているのが、国対委員長のこくたさん

です。

「公文書は国民の共通財産」であり、「改ざん・ねつ造は、国政調査権をじゅうりん」（こくたさん記者会見=3月14日）という主張は野党全体の立場になり、国民の世論を背景に証人喚問実現の力となりました。

こくた恵一
衆院議員

文化財保護法改定 後退批判し提案示す



今国会に提案予定の文化財保護法の改定。こくたさんは、文化財保護行政の重点を「保存」から「儲かること」を基準に移そうとしていることについて「大後退だ」と批判。技術者・技能者の育成・援助の充実、漆（うるし）や深草土など「原材料」確保こそ大切と提案を行いました。（2月23日、衆院予算委分科会）

大門みきし
参院議員

麻生相財務「重く受け止め」

佐川氏1人の責任か



「森友」文書改ざん事件で大門さんは、「自民党議員が『すべては佐川氏、理財局、財務省の責任であり、安倍夫妻には何の責任もない』という構図を描き佐川氏らを悪者に仕立てて攻撃している」と批判。これに麻生財務相は「一人の責任に押し付けるものではない」という指摘は重く受け止める」と答弁。政治的圧力や忖度（そんたく）があった可能性も示唆しました。（3月20日、財金委）